

〔平成26年度春ダイヤ改正、行路・交番他〕 の提示に基づき業務委員会を開催。

1月24日、業務委員会において会社側より〔平成26年度春ダイヤ改正、行路・交番他〕の提示に基づき、若干の議論を行いました。

1. 行路・交番作成の方針、概要

◎行路に影響する要因

- ①のぞみ号の10本、上下日中の時間帯
- ②一部のぞみ号の所要時間短縮（東京～新大阪3分）
- ③岐阜羽島～米原停車のひかり号の時間短縮（東京～新大阪3分）
- ④ひかり、こだま号にN700系の拡大
- ⑤引上げ線4本ATC使用

◎行路作成方針

- ①基本 7時間15分で作成（訓練時間含む）
- ②臨時列車の一部を基本行路に運転士6行路、車掌4クルー
- ③事業用を一部基本行路に運転士6行路
- ④東一両、東二両へは着発からを基本に作成（通勤回送は除く）
- ⑤運転士 「こだま」は名古屋で交代
「のぞみ」「ひかり」は東京～新大阪通しが基本（一部のひかりは段落ち）
車掌 「こだま」のみ名古屋交代、名阪間は2人乗務

◎交番作成 行路、要員、事故防止、養成など、年間休日を交番に組み込み作成

2. 新大阪駅線路増設に伴う保全体制の見直しについて

◎大阪電力所 要員+1 3月15日より

《若干のやり取り》

引き上げ線入出庫時間について

組合：引き上げ入出庫時間短縮したのか？

会社：入庫2分、出庫2分半。ATCがあるから。適正な時間である。

行路数について

組合：行路数の増減は

会社：大一輪車掌、3行路減。運転士は大一・大二とも変更なし

組合：今まで大一両取り込みが引き上げに変更した本数は？

会社：今は分からない。要員提示の時示す。

組合：引き上げ滞在時間の変更は。

会社：変わらない。2～3分長くなったのはある。

組合：短くなったのはないか。

会社：ない。

組合：引き上げ滞泊は何本か。

会社：即答できない。

組合：京都滞泊はなくなったのか。

会社：なくなった。

組合：5所での行路増減は？

会社：東一運転1行路増、車掌変更なし。東二運転変更なし、車掌3行路増。名古屋運転変更なし、車掌1行路減。

休日出勤について

組合：ダイ改後に休日出勤はあるのか。

会社：現在精査中。2月19日に提示する。

車掌の段落ちについて

組合：車掌の段落ち（労働時間外）は改善されてたのか。

会社：改善されている。

組合：名古屋折り返し回送10分は改善されていない。

会社：支障ない。

乗務員の訓練について

組合：乗務員への訓練はこれまでと同様か。

会社：はい。

組合：前訓など、乗務員の負担にならない訓練とすること。

会社：認識はしているが、入れざるを得ないこともある。

組合：改善等の要求を提出する期限は。

会社：1月いっぱいまでに。そうすれば、2月10日の週に業務委員会を入れられる。

大阪電力所の要員について

組合：大阪電力所の要員+1名の社員は、既に大阪電力所にいる社員を充当するのか。

会社：そうなる。

以上